

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	がんばる商店街支援事業				事業番号	015-011	
担当部署名	産業振興局	局	産業戦略部	部	地域産業創造課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(4)成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出
			有	取組の方向性	②中小企業による新事業の創出		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
			有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.3

2	関連計画	堺産業戦略		
3	事業開始年度	平成 13 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	地域商店街活性化法等		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	市内商店街（約67か所）、小売市場（2か所）、まちづくり会社及び地域住民				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	地域の住民やコミュニティのニーズに応える取組等を支援し、商店街等の活性化を促進する。 また、地域住民の利便性や安全性等の向上を目的に、商業振興上有益な共同施設の維持整備等を支援する。					
8	事業内容	◆商店街等ソフト事業支援事業 商店街等が地域住民やコミュニティのニーズに応えるために取り組む自主的なソフト事業を支援 ◆商店街等空き店舗活用支援事業 商店街等が主体的に実施する空き店舗を活用した取組を支援 ◆中心市街地まちづくり支援事業 中心市街地活性化協議会や意欲ある事業者等が、自主的かつ主体的に取り組む地域全体のまちづくり及び賑わい創出に資する事業を支援 ◆商店街ビジョン策定支援事業 商店街のビジョン検討に意欲的な商店街に対して、ビジョン策定に向けた事業を伴走支援 ◆商業共同施設維持管理等支援事業 商業振興上有益な共同施設を整備又は維持管理するための経費の一部を支援 ◆商店街街路灯等電気料金支援事業 防犯機能を果たしている街路灯等の電気料金の一部を支援					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	市内商店街等					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	事業主体（商店街等）が補助事業実施時に選択する目標の達成率	%	目標値	80	100	100	100
			実績値	86	86		
			達成率	108%	86%		
	当該指標を選定した理由	各支援事業を活用する際に事業主体（商店街等）が選択する目標は、商店街における売上増加や通行量増加、商店街に対する満足度向上等を指標としており、これらの目標達成率は商店街の活性化度合を示すものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	事業主体が選択した目標値（通行量・アンケート調査結果等）を達成した団体の割合					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	商店街等ソフト事業支援事業件数	件	目標値	12	12	12	
			実績値	13	12		
			達成率	108%	100%		
	当該指標を選定した理由	商店街等において、地域住民やコミュニティのニーズに応えるソフト事業の実施を支援することにより、商店街の活性化に寄与するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	利用実績を踏まえ、直近3か年の実績値の平均値12件を目標とする。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	がんばる商店街支援事業	事業番号	015-011
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	33,737	36,826	52,458	35,064	56,428
13	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（産業活性化基金繰入金）	7,763	3,891	0	0	5,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	25,974	32,935	52,458	35,064	51,428
14	人件費（b）	13,689	13,527	13,692	13,692	16,704
15	年間経費（c）=(a)+(b)	47,426	50,353	66,150	48,756	73,132

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	普通旅費	R8	予算	48	48	商店街ビジョン策定支援事業補助金【新規】	R8	予算	0	0
		R7	決算	324	324		R7	決算	3,000	0
	商店街活性化推進委員会負担金	R8	予算	17,000	17,000	商業共同施設維持管理等支援事業補助金【拡充】	R8	予算	0	0
		R7	決算	17,000	17,000		R7	決算	4,000	2,000
	商店街等ソフト事業支援事業補助金	R8	予算	5,067	5,067	商店街街路灯等電気料金支援事業補助金	R8	予算	11,085	11,085
		R7	決算	10,000	10,000		R7	決算	15,000	15,000
	商店街等空き店舗活用支援事業補助金	R8	予算	0	0	その他（通信運搬費・郵便料・研修参加負担金・謝礼金）	R8	予算	55	55
		R7	決算	4,000	4,000		R7	決算	104	104
	中心市街地まちづくり支援事業補助金	R8	予算	1,809	1,809		R8	予算		
		R7	決算	3,000	3,000		R7	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 商店街等ソフト事業支援事業件数	件	13	12
	② 上記①にかかる年間経費	千円	8,462	6,915
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	650,923	576,250
算出についての説明等		②年間経費は、商店街等ソフト事業支援事業補助に係る人件費と当該補助金支出額の合計		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	商店街等は、販促事業や集客イベント等の従来のソフト事業のみならず、各商店街等を取り巻く環境や地域ニーズを考慮しながら、万博関連事業やSDGsに資する取組のほかイルミネーション等の地域に密着した事業を実施している。また、都心エリアの商店街では、商店街にゆかりのある著名なアーティストと連携した取組により、新たな観光コンテンツとして全国から誘客を図り、賑わい創出に寄与している。 地域に根差した商店街等の持続的な発展につなげるべく、大阪府等とも連携しながら、変革意欲のある商店街等を重点的に支援した。 前年度に比べ、商店街等ソフト事業支援事業の1件当たりの補助額が減少したことに加え、人件費の見直しを行った結果、単位当たり経費は減少した。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	長引く物価高騰などにより商店街等が厳しい経営環境である中、地域のニーズを踏まえた自主的なソフト事業を支援することで、住民の身近な「買物の場」としてだけでなく、「様々な世代が共に暮らし、働き、交流する場」への変革を促し、商店街等の活性化の促進に寄与した。 あわせて、商店街等が主体的・積極的に実施する地域住民の利便性や安全性等の向上に資する事業を支援することで、商店街のイメージアップにつながり、安全で安心して過ごせる商業地の形成に寄与している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	商店街を取り巻く環境は、コロナ禍からの回復過程や物価高騰の影響により依然として厳しい状況にある。その中で、地域ニーズに応じた販促事業や集客イベントのほか防犯・環境配慮など多様なソフト事業を支援することで、商店街の「買物の場」としての機能に加え、交流やにぎわい創出の拠点としての役割強化、地域の利便性や安全性の向上が図られている。また、売上回復や集客力向上を通じて、地域経済の活性化にも寄与しており、本事業は持続的な商店街の発展に資する有効かつ必要性の高い施策である。
	有効性	■ 高い □ 低い	